

第六十七回
帝國議會
貴族院

酒造組合法中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十年三月二十三日(土曜日)午前十時
二十九分開會

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ開

會イタシマス、内務大臣御出席下サツタノデ、御都合モゴザイマセウト存ジマスカラ、第一ニ營業收益稅法中改正法律案ヲ問題ニ供シマス、御質疑ノ御有リニナル方ハ此際御願ヒ致シマス

○子爵大岡忠綱君 本案ニ付キマシテハ、去ル第六十五議會ニ於キマシテモ、貴族院ノ有力ナ方ミガ、之ガ成立ヲ強く希望サレマシテ、之ニ對シテ政府當局ニ於カレテモ十分考慮ヲ拂ハレルト云フコトニナツテ居リマシテ、其後地方稅及國稅ヲ通ジテ稅制財政準備委員會等ニ掛ケラレマシテ、相當審議ヲ圖ラレテ居ルコトト存ジマスカ、尙ホ本議會ニ於キマシテモ、皆委員ノ方ミニ於テモ、之ガ通過ヲ熱望シテ居ラレルトデゴザイマスケレドモ、今迄ノ政府ノ御答辯ニ依リマスト、マダ十分政府當局ノ御眞意ガ明瞭ニナツテ居ラナイノデスケレドモ、尙ホ此點ニ付テ内務大臣ノ明確ナル御所見ヲ承レバ結構デゴザイマス

○國務大臣(後藤文夫君) 政府ニ於キマシ

テハ、衆議院提出ノ本法律案ニ付キマシテハ、從來モ屢々申上ゲテ居リマスガ如クニ、法人營業ノ演劇興行ヲ營業收益稅ニスルト云フコトハ、租稅形態ヲ整ヘマスル意味合カラ致シマシテハ、純理論ニ於テハ之ニ反對ヲ致ス譯デハアリマセヌ、唯之ニ伴ヒマシテ、演劇興行稅ノ撤廢ニ付テハ、何分地方稅ニ三百五十萬圓カラノ財源ヲ減ズルヤウナ……此儘デハ減ズルヤウナコトニ相成リマスル譯デ、地方財政窮乏ノ甚シイ折柄、之ガ代リ財源ナクシテハ考慮ヲ致シ兼ネルヤウナ實情ニアル譯デアリマス、又地方雜稅中ニハ演劇興行稅ニ先ダツテ整理改善ヲ加ヘナケレバナラヌヤウナモノモ色ミゴザイマスルノデ、是等ヲ差措イテ獨リ演劇興行稅ノミヲ整理イタスト云フ譯ニモ參リ兼ネル事情デアリマス

○三井清一郎君 只今内務大臣ノ御答ハ、一言デ言ヘバ合理的ニ此營業收益稅ヲ改正シテ行クト云フ、根本精神ニ於テハ、決シテ反對スルモノデハナイ、併シ代リ財源ヲ作ラナケレバ三百五十萬圓餘ノ地方ノ財政ニ影響ガアルノデアルカラ、本案ニ若干ノ修正ガアツタラバ、政府モソレニ對シテ善

處セラルルモノト考ヘマス、就テハ本改正法案ノ附則ガ「昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」トナツテ居リマスノヲ「施行期日ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル」ト修正イタシタナラバ、政府ノ從來ノ御趣旨ニ必シモ不都合ヲ生ズルモノトハ相成リマセヌト存ジマスカ、如何デアリマセウ

○國務大臣(後藤文夫君) 只今御提案ガア

リマシタ如キ法案ノ附則ヲ修正ヲ致シマシテ、施行期限ヲ勅令ニ委ネラレマスルニ於テハ、前ニ申上ゲマシタ雜種稅等ニ付キマシテモ、又代リ財源關係等ニ付キマシテモ、政府ニ於テ一ツ、銳意整理方竝ニ之ガ處理方法ヲ考究努力イタシマスル期間ヲモ生ズル譯デアリマシテ、其餘裕モ得ラレマスルノデ、此意味合ニ於キマシテ、若シ御修正デ本法案ガ通過イタサレルコトデアリマスレバ、政府ノ考ヘテ居リマス趣旨ニモ副フコトモ出來ルヤウニ考ヘラレマスルノデ、政府トシテモ強ヒテ反對ハ致シマセヌ心持デ居リマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ハゴ

ザイマセヌカ

○三井清一郎君 政府ハ此修正セラレタモ

ノニハ反對スルモノデハナイ、斯ウ云フヤウニ了解シテ宜シウゴザイマスカ……ソコデ根本ニ付テ本案ニ御同意下サレタト云フコトハ、我ミ満足イタス次第デアリマスルガ、本案ノ政府ノ考ヘラレテ居ル所ハ、施行期日ガ確定シテ居ル爲ニ、政府ガ其間ニ此取扱ラスルノニ不便デアルト云フ御感ジデアラウト判斷イタシマス、自然施行期日ノ附則ノ修正ト云フコトニナルト致シマスレバ、ソレニ對シテ政府ハ若シ長イ期間實行ヲナサレヌデアツタナラバ、折角法律案ハ通過シテ、合理的ニ營業收益稅ノ中ニ入ッタシテモ、實行シナケレバ效果ガナイノデアリマスカラ、是ハ何卒最モ近イ期間ニ於テ御實行ニナルヤウニ、切望シナケレバナラヌト思フ、其點ニ付テ御所見ガアリマシタラ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 政府ニ於キマシ

テハ、此問題ハ出來ル限り早く合理的ニナツテ實施サレルコトニ、地方財政ノ關係等ヲモ考究シテ參リタイト豫テ考ヘテ居ル所デアリマス、其點ハ十分一ツ努力ヲ致シテ見タイト考ヘマス

○三井清一郎君 尙ホ本案ニ付テ、曩ニ政

府委員ノ御答辯中ニモ、一般ノ稅政整理ノ

時機ニ、若クハ内閣審議會ノ議ニ付シテ、

徐ロニヤラウト云フ考ガ、ソレトナク御答

辯中ニ含マレタヤウニ感ジマスルガ、當委

員會ハ此改正ハ成ルベク速ニ實行シテ戴キ

タイト云フ空氣デアリマスルカラ、我ミト

シテハ内閣審議會ニ掛ケルトカ、或ハ稅制

準備調査會ニ掛ケルトカ云フヤウナ、内容ニ

觸レテ論議スル者デハアリマセヌガ、ドウ

ゾ此營業收益稅ノ殘サレタ此演劇興行稅ハ、

早ク營業收益稅ノ中ニ纏メラレルト云フ、

此稅制ノ體系ヲ整ヘル上ニ重キヲ置カレテ、

速ニ御改正アラムコトヲ切望イタシマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 他ニドナタ

カ御質問ゴザイマセヌデスカ……ソレデハ

御質問ガナケレバ討議ニ移リマス、御意見

ノ御有リニナリマス方ハ、此際御申述ヲ願

ヒマス

○三井清一郎君 討議ニ這入リマシタニ付

テ、政府ノ御答辯ノ趣旨モ尊重シ、又本案

ノ成立ヲ希望スルト云フ意味カラ、衆議院

送付ノ原案ノ施行期日ヲ修正シタイ、詰リ

施行期日ヲ勅令ニ委任スルコトニ修正ラシ

タイ、此修正動議ヲ提出イタシマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 三井君ノ御

意見、別ニ御異議ハゴザイマセヌデスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ左

様ニ決シマス、尙ホ此文案ニ付キマシテ只

今當局ノ意見ヲ聽キマシタカラ、私之ヲ代

リニ申述ベマス、附則、本法施行ノ期日ハ

勅令ヲ以テ之ヲ定ム、ソレカラ次ノ項ニ

「本法施行前ニ終了シタル法人ノ各事業年

度分ノ營業收益稅ニ付テハ尙從前ノ例ニ依

ル」、此意味ヲチョット當局カラ簡單ニ御説

明ヲ願ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 「本法施行ノ

期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノハ是ハ

別ニ言フ迄モアリマセヌガ、其次ノ「本法施

行前ニ終了シタル法人ノ各事業年度分ノ營

業收益稅ニ付テハ尙從前ノ例ニ依ル」ト云

フノヲ特ニ必要ト致シマスルノハ、本法施

行前ニ終了シタル法人ノ事業年度分ノ營業

純益ニ付テ本法施行ノ際ニ決定未済ニナッテ

居ルモノハドウスルカト云フ問題ガ殘ルノ

デアリマス、斯カル事業年度分ニ付テハ本

法施行後ニ於テ之ヲ決定スル場合ニ於テモ、

尙ホ從前ノ例ニ依ッテ非課稅ノ扱ヒヲスル

ト云フコトヲ明カニスルガ爲ニ此規定ヲ要

スル譯デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 三井サンノ

御發言ニ付テ伺ヒマスガ、是デ宜シウゴザ

イマスカ

○三井清一郎君 私ノ動議ノ趣旨ニ合シテ

居ッタト考ヘマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ之

ヲ議題ト致シマス……改メテ三井君ノ御提

案ト認メテ之ヲ議題ト致シマス、斯ウ云フ

風ニ附則ヲ修正イタシマシテ、此營業收益

稅法案ヲ可決スルト云フコトニ御異議ハゴ

ザイマセヌデスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ナイ

ト認メマス、是デ此法案ハ決定イタシマシ

タ、次ニ昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ

充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七

年法律第一號中改正法律案、昭和十年度一

般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行

ニ關スル法律案、此三案ヲ問題ト致シマス、

大藏大臣ガ御出席ニナッテオイデニナリマ

スルカラ、大藏大臣ヘノ御質問ヲ此際御願

ヒ致シマス

○三井清一郎君 此赤字公債ニ付キマシテ

ハ私ハ本月初メ委員トシテ出席イタシマ

シタガ、前回ニ於テ幾多ノ質問應答ガアリ

マシタノデ、最早大體ニ付テ能ク了解

シテ居ル次第デアリマスルガ、私ハ此際

ニ於テ大藏大臣ニ御尋ネシタイト思フ

コトガ一二アリマスノデ、御許シヲ願ッタ

次第デアリマス、我ミハ高橋大藏大臣ノ財

政經濟政策ニ付キマシテハ、全然共鳴

シテ居ル一人デアリマス、今日此世界的ノ

經濟非常時ニ於テ御執リニナッテ居ル政策

ニ付テハ、何等ノ意見ヲ持ッテ居ル者デアリ

マセヌガ、昭和七年カラ九年ノ末マデニ赤

字公債ガ約二十億七千萬圓餘出テ居ル、此

赤字公債ノ利子ガ爲替差損金ヲ加ヘマスト、

私ノ概算デハ四億六七千萬圓ニナル、此赤

字公債ハ、自然此利子ハ國民ノ負擔トナル

コトハ勿論デアリマシテ、大藏大臣ハ公債

漸減政策ヲ御執リニナッテ、既ニ一億以上

ノ、本年十年度ニ於キマシテハ、公債ノ發

行ガ減ジテ居ルト云フコトハ、此コニ御著

意ニナッテ居ル結果ト私ハ承知シテ喜ンデ

居ル次第デアリマスガ、免モ角四億以上ノ

赤字公債ノ利子ヲ拂ッテ行クト云フコトハ、

將來餘程財政上困難ナ狀態ニ立到リハシナ

イカト云フコトヲ憂慮スルノデアリマス、

併シ今日ノ我國庫收入ノ現況カラ見テ、ド

ウシテモ時局ニ對スル總テノ經費ヲ賄フ爲

ニハ、公債政策ヨリ外ニナイト云フコト

モ、我々ガ十分了解シテ居ルノデアリマス

ガ、一方ニ於テハ此赤字公債ヲ減ズル上ニ

付テハ、行政財政ノ整理ヲシテ、成ルベク

國家ノ歳出ヲ減ジテ行クト云フコトヲ御考ヘニナツテオイデニナルコトト信ジマス、殊ニ内閣審議會等ヲ御設ケニナツテ、之ガ十分ノ審議ヲ爲シテ、將來ノ財政ノ確立即チ收支ノ均衡ヲ得ント御努メニナルト云フコトハ、當然ノコトト思ヒマスルガ、此公債政策ハ御承知ノ通り財界ニ又一ノ影響ヲ與ヘマス、即チ經濟界ノ動向ヲ若干此公債政策デ左右シテ行クト云フコトハ、既往ノ事實ニ鑑ミテ明カデアルト考ヘルノデアリマス、現ニ昭和七年末以後ニ於テ、九年七月迄ニ、十六億ニ近イ公債ヲ日本銀行カラ市中銀行ニ賣却シテ居リマス、即チ市場操作ヲヤツテ居ル、此公債賣却ハ或ル場合ニハ金融ノ若干ノ引締リヲ來シ、又或ル場合ニハ非常ナ「インフレーション」ノ害ヲ押ヘテ行ク所ノ良藥トモナル、斯ウ云フ公債ノ動キガ市場ニ影響シテ居ルト云フコトハ勿論デアリマス、私ハ昨年九月ノ若干ノ財界反動ノ研究ヲシテ見マスルト、是ニハ種々ノ原因ガアリマスガ、即チ米國經濟界ノ沈滞ダトカ、或ハ生絲輸出貿易ノ悲觀の見通シダトカ、若クハ蘭安ニ依ル農村購買力ノ減退トカ、又軍縮問題ニ關係シテ國際的情勢ノ不安ダトカ、増税ノ懸念ダトカ、市中銀行ノ四分利公債ノ買過ダトカ、出超季節ノ九月上旬

ニ於ケル變態ノ入超ダトカ、重要商品ノ生産過剩ノ懸念ダトカ、色ミノ原因ガ集ツテ來テ、昨年九月ノ若干ノ反動現象ヲ現ハシタト考ヘマスルガ、併シ私ハ自分ノ研究デ最も此關係ノ深カッタコトハ、昨年七月マデニ日銀ガ市場操作ヲヤツテ、七月ダケデモ二億七千萬圓ノ公債ヲ賣却シテ居ル、之ガ爲ニ金融ガ若干逼迫シタト云フ現象ヲ呈シテ居ル、斯ウ云フ狀況デアリマスノデ、現藏相ノ御執リニナツテ居ル政策トシテハ、誠ニ我ニハ共鳴イタシマスガ、此政策ノ實行ニ餘程ノ大藏省トシテ監督ヲシ、注意シナケレバ經濟界ニ大ナル波動ヲ與ヘハセヌカ、斯ウ云フ憂慮ガアリマス、今後ニ於テモ斯ウ云フ點ニ付テハ日銀ト大藏ノ關係其他ニ於テドウ云フヤウナ方法ヲ講ジテ下サレテ居ルカ、此點ヲ先ヅ御聞キシタイト思ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 此財界ノ金融ノ逼塞シタリ或ハ又緩慢ニナツタリ、又景氣ガ好クナツタリ惡クナツタリ、此循環的ニ來ルト云フコトニ付テハ、其原因ハ今御話ノ通り種々様ミナ原因ガアル、而シテ其原因ノ中ニモ極ク一時的ノ性質ノモノモアルシ、又稍、恆久的ノモノト考ヘラレルコトニ依ツテ起ツタ影響モアル、様ミナ影響ガアリマスルガ、是ハ皆其時ミノ働ヲ爲シテ居ルノデ、一細カイ御説明ヲスルコトハ控ヘマスルガ、元來此公債政策ヲ新ニ設ケタト云フコトハ、抑、根本ノ基調ヲ整ヘルコトガ目的デアッタノデアリマス、御承知ノ通り非常ナ不景氣ニナツテ、金本位ニナツテカラ非常ナ不景氣ニナツテ、サウシテ内地ノ産業ハ各方面ニ於テ不振ノ狀態ニ陥ツテ、日ニ日ニ失業者ガ多ク現ハレテ來ル、サウ云フ困難ナ場合、一方ニ於テハ國防上又滿洲ノ事件ニ付テモ段々政府ノ支出モ寧ロ増加スルトモ是ガ減ルト云フヤウナ形勢ハ見エナカッタ、ソレデ財界ノ有様ハ、農ト云ハズ商ト云ハズ工ト云ハズ、總テ段々收益ガ減ル、取得ガ減ルバカリデアアル、外國貿易モ思ハシクナイト云フ有様デアッタ、ソレ故ニ一方ニ於テハ、又思想上カラ申セバ、或ハ共產主義ノヤウナ說モ當ニ說トシテ現ハレタノミナラズ、隨分學識ノアル、將來大イニ望ヲ屬スベキ若イ人達ノ、學識ノアル人達ノ頭迄ソレガ映ジテ來タ有様デアアル、詰リ皆不安ノ念ニ驅ラレテ居ッタノデアアル、ソコデ或ハ資本主義ト云フモノヲ非常ニ呪フ、ドウ云フモノガ資本主義デアアルカト云フコトノ詳シイコトハ餘リ研究モセズシテ、唯資本ノ横暴、財閥ノ不埒ナコトトカ云フヤウナ考バカリ

起ツテ來ルヤウナ傾向ニナツテ來タ、而シテ一方ニ於テハ、國費ハ寧ロ國際間ノ關係ニ於テモ増加スル一方デアアルノデアリマスカラ、茲ニ於テ如何ニシテ此懷疑ニ傾イテ行ク所ノ人心ヲ安定セシムルカ、此方法ハ如何ニシタラ宜イモノカ、ソレガ又必要デアルト云フコトヲ一ツニハ感じ、一ツニハ先ヅソレ等ノ人心ヲ和ゲル上ニ於テモ、日々失業者ノ殖エルト云フヤウナコトデハ是ハイカナイ、此失業者ホド國家ニ對シテ損害ノ多イモノハナイノデアアル、又是等ノ人ノ働キヲ十分ニ實現スルヤウナ機會ヲ作ツテヤルト云フコトガ必要デアアル、從來人ノ働キト云フヨリハ、資本ノ利益ト云フモノノ割合ガ多ク分配サレテ來タ、是ガマア從來カラ有ル所ノ小作爭議或ハ同盟罷工ト云フヤウナモノガ起ツタ大イナル原因デアリマス、ソレ是ヲ併セテ先ヅ差當リドウ云フ政策ヲ取ツテ宜イカト云フコトガ、大問題ダト考ヘタノデアリマス、ソレニ依ツテ起ツタ考ガ低金利ノ政策、ソレカラ將來ドウシテモ公債ヲ發行シテ、サウシテ一方ニ於テ必要ナ方法ヲ樹立スルト同時ニ、民間ノ資本ガ行カナイ所ノ事業ニ向ツテ先ヅ政府ガ仕事ヲ起シテ、サウシテ此失業者ヲ働カセル途ヲ講ジナケレバナラス、又其上、民間ニ

於テ資本ト云フモノノ値ヲ安クシテ、金利ヲ引キ下ゲテ、サウシテ人ノ働キノ方ニ利益ノ赴クヤウニ方針ヲ執ラナケレバナラヌ、是ガ根本ノ觀念、ソレカラ起ッテ、手段トシテハドウスルカ、從來ノ公債ノ發行ノ方法デハ迎モ今日國ガドウシテモセネバナラヌ仕事ヲスルニ必要ナ資本ヲ得ル爲ニ、公債ヲ賣ルコトガ出來ナクナツタ、行キ詰ッタ、ソコデ公債發行ノ方法ヲ改メナケレバナラヌ、ソコデ從來特殊銀行ニ相談ヲシテ公債ノ引受ヲサシメタ方法ヲ改メテ、直ニ政府カラシテ一般ノ公衆ニ向ッテ公債ヲ發行セズニ、一應日本銀行ヲシテ之ヲ引受ケシメ、サウシテ一方ニ於テハ日本銀行ノ發行制度ヲ改メル、茲ニ於テ公債ニ付テ先刻御話ガアツタ、日本銀行ガ公債ヲ賣ッタガ爲ニ、或ル時期ニ於テハ金融逼迫シタ爲ニ、或ハ民間事業、産業ヲ妨ゲルニ至ッタト云フヤウナコトデ、恰モ公債證書ト云フモノヲ、日本銀行ガ進ンデ一般ニ賣リ出スト云フヤウニ御考ヘニナッデ居ルデハナイカト考ヘラレル、決シテサウ云フ譯デナイ、日本銀行ニハ、公債ヲ買ヒタイト云フ人ガアツタバ、ヨク理由ヲ質セ、從來公債迄モ投機思惑ノ具ニ供ヘラレテ居ッタ、今日ハサウ云フコトハ避ケナケレバナラヌ、凡

ソ有價證券ナルモノノ様ニナ種類ハアルケレドモ、國ノ公債、國ノ借用證文、一體日本國民ノ所有トシテハ是ホド確カナモノハナイ筈ダ、然ルニ之ヲ投機思惑ノ具ニ供スルト云フコトハ宜クナイカラ、サウ云フモノノ具ニナナイヤウニ注意シナケレバナラヌカラシテ、望ミ手ガアツデモ、何故ニ其ノ公債ヲ持チタイ買ヒタイト云フノカ、其理由ヲ質セ、而シテソレガ投機思惑ノ動機カラ起ッタモノデナイ、確カニ貯蓄ノ金、自分ノ持ッテ居ル金ノ餘ッタモノヲ放資スル、正シイ投資物トシテ欲シイノデアルト云フヤウナコトデアルナラバ、ソレハ政府カラ引受ケタ先ヅ元値デ以テ其人ニ賣ッテヤレ、斯ウ云フ命令ガ行ッテ居ルノデス、ソレ故ニ民間デ他ニ向クベキ金ガアルノニ、ソレヲ抑ヘテ公債ニ向ハシメタト云フ働キハ日本銀行トシテハ決シテ取ッテ居ラナイノデアリマス、民間デ其公債ニ應ズル力ガ出タト云フノハ何カト云フト、詰リ前ニ申シタ通り、民間デ財界不況ノ場合ニ、商工共ニ、造レバ損スル、賣レバ、買ヘバ、損スルト云フ狀況デアルカラ、誰モ思切ッテ特ニ増加ヲ見越シテ物ヲ造ッタリ買ッタリスル者ガナクナツタ、詰リサウ云フヤウニ商工業ノ仕事ガ減ルカラシテ、之ニ從事シテ居ル人達ノ

仕事ガナクナルカラ、ソレハ方々ニ失業者ガ殖エテ來ルト云フノデアルカラ、國民ノ購買力ガ段々縮小シテ行ク一方デアッタ、ソコニ政府ガ仕事ヲ起シテ、ソレデ人ニ働キ……職業ヲ與ヘル、職業ニ就ケバ、生活費ヲ拂ッテ多少ノ餘裕ガソコニ生ズルト云フ、此餘裕ト云フモノガ重ナリ重ナッテ民間ノ資本ト云フモノガ殖エテ來タガ、其殖エルダケ一方ニ於テ投資スベキ堅實ナル仕事ガ起ラナイカラシテ、餘ッタモノヲ以テ日本銀行ニ、金利カラ云ヘバ一番安イ所ノ政府ノ公債ヲ欲シイト云ッテ、貯蓄銀行ニシテモ、普通ノ銀行ニシテモ、或ハ信託會社ノヤウナモノニシテモ、中ニハ又個人ニシテモ、日本銀行ヘ買ヒニ來ル人達ノ中ニハ、或ハ二萬圓、三萬圓、五萬圓ト云フヤウナ小サイ望ミ手ノ用ヲ爲ス爲ニ、證券業者ナドガ買ヒタイト云フ理由ヲ述ベテ申出デ居ル、サウ云フ有様カラ見ルト云フト、萬遍ナク稼イデ、餘裕ガソコニ出テ來デ、其餘裕ノアル金ヲ何カニ放資シタイ、其放資シタイト云フ其希望ガ、御承知ノ通り隨分此民間ノ會社ノ債券ヤ株券ニモ、相當ニ今日ハ放資スル人ガアル、殊ニ此滿洲鐵道或ハ滿洲國ノ公債ナドニモ、一般ノ人ガ應ズルヤウナ譯デ、必シモ我國ノ公債ノミト云フ譯デハ

決シテナイ、併シ是ガ固マッテ日本銀行デ政府ガ公債ヲ出シテモ、赤字公債ガ捌ケテ行クト云フノデ大變ニ目ニ立ツガ、數字ノ上デ調ベテ行キマシタナラバ、必ズ回復シテ來タ經濟界ノ回復ニ連レテ國民ノ餘裕ガ生ジテ來タト云フ金ガ、悉ク此公債ニ行ッテ居ルト云フ譯ノモノデハ決シテナイノデアッテ、却ッテ民間ノ増資或ハ社債或ハ府縣債ト云フヤウナモノニ、矢張り相當ニ皆投資サレテ居ル、サウ云フ譯デアリマスカラシテ今日ノ政府ノ公債政策ガ、必要ナル此民間ノ生産資金ヲ壓迫シテ居ルト云フ其弊害ハ、今日ハ先ヅ無イモノト私ハ考ヘテ居ル、デ將來モ此風デ行キマスカラシテ、決シテ民間ノ經濟上ノ發達ヲ妨ゲル迄ニ、日本銀行ガ公債ヲ賣付ケルト云フコトハナイモノト御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ成程國民ノ負擔トシテハ公債ガ非常ニ殖エルノデアリマスカラ、將來長キニ互ッテ此公債ノ元利ヲ償還スルト云フコトデ、現在ノ國民ナリ、我ミノ次ノ國民ナリガ之ヲ皆負擔シナケレバナラヌ、併ナガラズノ如ク公債ヲ出スト云フコトモ已ムヲ得ズ是ハ出スモノデ、只今申シタヤウニ、之ヲ若シ出サズニ政府ガデットシテ何ニモセズニ居レバ、政府ノ歳入モ段々ト減ル一方、政府ノ歳入ノ減ルノハ民間ノ農商工業

者ノ收入ノ減ル結果ガソコニ及ンデ來ルノ
ダカラシテ、益々萎縮シテ日本全體ガ殆ド先
ヅ行詰ツタ状態ニ行ク、ソレヲ避ケル爲ニハ
何トシテモ已ムヲ得ザル今日迄ノ政府ノ政
策ダト私ハ考ヘテ居ル、デアリマスシ、將
來是ガ進ンデ行キマスレバ、御承知ノ通り
人口ハ我國ハ年々殖エテ行ク、殖エテ行ク
ニ從ツテ國民ノ生産力モ伸ビテ行ク、從ツテ
此收入モ殖エテ行ク、御承知ノ通り、政府
ノ租稅其他ノ收入ニ於テモ、日露戰爭時代
ニハ僅カ三億カ四億ヲ以テ賄ツテ居タ此我
國ガ、今日二十何億ニ進ンダ、此位先ヅ國
民ノ收益モ殖エテ行クモノデアリマスカラ
シテ、此調子進ンデ行ケバ、今日ノ赤字
公債ノ元利負擔ヲ、將來ノ人ニモ現在ノ人
ニモ、サウ迷惑ヲ掛ケズニ濟ンデ行クノデ
ヤナカラウカ、是ハ少シ樂觀カモ知レヌケ
レドモ、サウ考ヘテ居ル

○三井清一郎君 大藏大臣ノ御懇切ナル御
答デ非常ニ満足イタシマス、殊ニ日本銀行
ノ市場操作ガ、日本銀行自發デナク、各地
方銀行其他個人等ノ希望デ公債ヲ賣却シテ
居ルト云フコトニ付キマシテハ、能ク了解
イタシマシタガ、唯私ハ是ガ普通、今年ニ
於テモ調ベテ見マス、一月二月ノ日銀ノ
公債賣高ガ一億六七千萬圓、殆ド一定シテ

居リマス、約是位デ今迄御發行ニナツタ公
債ガ、月々平均シテ動イテ行クト云フコト
ガ、經濟界ニ大ナル影響ヲ與ヘナイガ、市
中銀行ガ非常ニ氣分ガ一ツニナツテ、日本銀
行ヘ澤山ノ申込ガアツテ、昨年ノ七月ガ二億
七千萬圓、六月モ矢張り二億圓、サウ云フ
ヤウニ固マツテ行キマス云フト、若干金融
逼迫ノ状態ヲ呈シハセヌカト憂ヘテ居ル、
併シ其點ハ大藏省ト日銀ノ間ニ十分ノ御連
絡ガアツテ、御統制ニナツテ居ルトスレバ、
誠ニ結構ト思ヒマス、モウ一ツ甚ダ時間ヲ
費シテ濟ミマセヌガ、御伺ヒ致シタイノハ、
是ハ既ニ此委員會デ御尋ネニナツテ居ルコ
トト信ジマスガ、私ハ今日初メテ出席イタ
シマシタノデ重複スルカモ知レマセヌガ、
此公債消化ノ經路ヲ我ミガ研究シテ見マス
ルト、色ミソレニハ議論ガアリマスルガ、
一部ノ財界ノ人等ガ、政府發行ノ公債ガ日
本銀行ヘ廻ツテ、サウシテ其代金ガ軍費其他
財政上ノ費ニ當テラレテ居ル、其經費ガ又
政府ノ支拂トナツテ銀行ヘ入ッテ來ルソレガ
貸付資本ニ轉化スル、貸付資本ガ金融市場
ニ過剰ヲ生ジテ、日本銀行所有ノ公債ニ向
ケラレル、所謂資金ノ鹽廻シ、斯ウナツ
テ行クカラ、公債ハ消化サレテ、何時迄
公債ノ消化力ト云フモノハ可能デアル、斯

ウ云フ議論ヲ立テル人モアリマスガ、私等
ハサウ鹽廻シデ公債ガ圓滿ニグルト、廻リ
ヲシテ都合好ク行クトハドウモ信ゼラレヌ
點ガアル、或ル場合ニ於テ此公債ノ消化力
ガ非常ニ減ジテ來ヘヌカト云フヤウナ憂ヲ
持ツテ居リマスガ、之ニ付テ甚ダ御迷惑デ
アリマスガ、藏相ノ御所見ヲ伺ヒタイと思
ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 全ク御同感デ
ス、能ク世間デハ鹽廻シト云ツテ、中ニハ政
府ニハ政府ガ軍事費其他ニ金ヲ使フノニ公
債ヲ際限ナク出シテ居ル、今ノヤウニ鹽廻
シデ一般國民ノ手ニ入ッテ、其餘リヲ又日本
銀行ニ持ツテ來テ、公債ハ如何ニモソレデ以
テ消化サレルノダト云フヤウナ議論ヲ、隨
分相當ナ人ガスル、是ハ誠ニ危險ナ話デア
ル、サウ云フ譯ノモノデハナイ、是迄公債
ガ、比較的能ク潤澤ニ動イテ行キ、又民間
ノ銀行其他ノモノガ之ニ應ズル力ガ存外多
ク出來タト云フモノハ、元來不景氣時代迄
ニ金融機關其他ノモノガ出シタ金ガ氷結シ
テシマツテ、資金化サレナイ状態ニアツタ、
ソレガ緩ンデ來タト云フコトモ、是モ考ノ
中ニ入レテ置カナケレバナラヌ、是ガ氷結
シ、固定シテ居ッタ、此不動ノ貸金ト云フモ
ノガ動イテ來タモノデスカラ、一時ニ公債

社債等ニ應募スル力ガ殖エタノダケレド
モ、新ニ興ツタ力デヤナイ、元貸付ケタ金ガ
活返ツタ、即チ死ンダト同様ノ金ガ活返ツテ
來タト云フノガ、借リタ方ニモ又貸シタ方
ニモ幸ナナツテ、茲ニ一時大イニ消化力ガ伸
ビタ、ソレヲ以テ直ニ鹽廻シニ行ツテ居ル
ト云フノハ、大イナル間違ヒダト私ハ考ヘ
テ居リマス

○三井清一郎君 私人質問ハ是デ終リマス
○委員長(子爵大河内輝耕君) ドナタカ大
藏大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌデス
カ……ゴザイマセヌケレバ、大藏大臣ハ御
忙シイドラウト存ジマスカラ、大藏大臣
ハ御退席ニナツテモ宜シウゴザイマセウ
カ……ソレデハドウゾ……、他ニ此三案ニ
付キマシテ御質問ノ御有リニナル御方ハ御
願ヒ致シマス、別ニ御質問ゴザイマセヌデ
スカ、別ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、
採決ニ移リタイト存ジマス、此昭和十年度
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案、昭和七年法律第一號中改正
法律案、竝ニ昭和十年度一般會計歳出ノ財
源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律
案、是ハ全部原案通り御異存ゴザイマセヌ
カ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ナイ

ト認メマス、ソレデ此三案ハ決定イタシマシタ、次ニ不動産融資及損失補償法中改正法律案ヲ問題ニ供シマス、先ヅ政府委員ノ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 不動産融資

及損失補償法中改正法律案ニ付テ御説明申シマス、御承知ノ如ク不動産融資及損失補償法ニ依ル不動産資金ノ融通ハ、昭和七年本法ノ制定セラレマシタ當時ニ於ケル金融梗塞ノ狀態ニ鑑ミマシテ、銀行ノ有スル不動産、固定資産ヲ資金化シテ、其活動ヲ圓滑ナラシメ、以テ金融ノ疏通ヲ圖ラントスル施設デアリマスガ、現行法ニ依リマスレバ、其融通期間ハ本年九月末ヲ以テ終了スルコトニナツテ居リマス、本融通開始後二年餘ヲ經過シマシタ今日迄ノ實績ニ徴シマスレバ、本法ニ依ル資金ノ融通高ハ、昭和九年末ニ於テ、累計三千八百二十一萬圓ニ達シマシタガ、其外ニ或ハ寢抵當ヲ設定シ、或ハ將來ノ貸付ヲ目的トシテ抵當物件ノ調査ヲ行フ等ノ方法ニ依リマシテ、豫メ本法ノ發動ニ備ヘタルモノモアリマシテ、其銀行ノ信用ヲ確保シ金融界ノ安定ニ資スルコト頗ル大ナルモノガアッタト考ヘマス、而シテ最近ニ於キマシテハ、政

府ノ低金利ノ政策ノ各種政府資金ノ放出ニ

伴ヒマシテ、有價證券ハ値上リヲ見、又預

金モ増加シツツアル結果、銀行ノ資産内容

ハ漸次改善セラレ、手許資金モ亦潤澤トナ

リマシタガ、何分ニモ經濟界ハ未ダ全般的

ノ回復ヲ見ル迄ニ至ラズ、不動産ノ價格モ

僅ニ低落ノ步ヲ止メタルニ過ギヌ狀態デア

リマスカラ、銀行ノ固定資産ヲ流動化シ、

以テ金融ノ疏通ヲ圖ルノ必要ハ依然トシテ

存シ、從テ今後ト雖モ本制度ノ繼續ヲ必要

トスルノデアリマス、殊ニ昨年中ハ殆ド全

國ニ亙ッテ各種ノ災害ガ相踵イデ起リ、之ガ

爲ニ銀行ニ於ケル不動産、固定資産ノ整理

ハ進捗ヲ阻害セラルルニ至リマシタノデ、

特ニ其必要ガ認メラレルノデアリマス、斯

カル次第デアリマスカラ、本法ニ依ル不

動産資金ノ融通期間ハ、之ヲ相當延長スル

必要ガアルノデアリマスガ、其延長ノ期間

ハ經濟界ノ狀態、銀行固定資産ノ整理ニ要

スル時日等ヲ考慮シマシテ、本年十月以降

三年トスルコトヲ適當ト認メマシタノデ、

本改正案ヲ提出イタシタ次第デアリマス

○男爵高崎弓彦君 チョット御尋ネシマス

ガ、今ノ御説明中ニ金額ノ三千八百二十一

萬圓餘トアリマシタガ、是ハ此不動産融資

ニ對スル金額ナノデゴザイマスカ、チョット

聴キ漏シマシタノデ……

○政府委員(男爵矢吹省三君) 三千八百二

十一萬ハ、九年末マデニ出シマシタ、融通

イタシマシタ總計デアリマス

○男爵高崎弓彦君 是ハ不動産ニ對スル今

ノ九年末マデノ融通總計ニナツテ居リマス

カ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 左様デゴザ

イマス、不動産ニ對シテ貸付ケマシタ、融

通イタシマシタ總計ナノデアリマス

○山本米三君 此不動産融資ノ施行サレマ

シテ以來、殆ド三箇年ニ垂ントスルノデア

リマスカラ、成績ハ餘リ宜クナイヤウニ思

ハレルノデ、政府ハ五億圓ヲ豫定サレマシ

タニモ拘ラズ、只今此表ヲ頂戴イタシマシ

タ額ニ依リマス、三千二十八萬餘圓、斯

ウ云フコトニ相成ッテ居リマスカラ、餘リト

シテ其成績ガ擧ッテ居ナイト云フコトハ、利

子ガ餘リ高イト云フ風ナコト、及ビ又取扱

ニ付キマシテ農工、勸銀等ノ銀行ノ取扱

ガ、餘リ抵當物ナドヲ見マスルノニ嚴密ニ

過ギマシテ、此不動産貸付ノ、融資貸付ノ

趣意ニ副ハナイヤウナコトノ爲ニ、此成績

ニ依リマスルト、不動産融資及損失補償法

ニ依ル融資ニ關スル損失補償ノ申請ハ一ツ

モナイト云フコトニ依リマシテモ、餘リ嚴

密ニ過ギタノデナイカト云フ風ニモ思ハレ

マスルガ、政府ニ於キマシテノ御所見ハ如

何デゴザイマセウカ

○政府委員(荒井誠一郎君) 私カラ御答ヘ

致シタイト存ジマス、不動産融資ノ貸付高

ガ當初ノ豫想ニ比シテ非常ニ少イデハナイ

カ、是ハ御尤ナ御尋デアリマス、當時ニ於

キマシテハ只今御話ノ如ク五億圓ヲ融通イ

タシマシテ、其二割、一億圓ノ補償ガ必要

デアラウト云フ趣旨カラ法律案ガ提案ニ

ナツタノデアリマス、御承知ノ通り、當時

ニ於キマシテハ非常ニ金融界モ逼迫イタシ

テ居リマシテ、相當巨額ナ不動産融資ノ資

金ヲ供給イタシマセヌケレバ、財界ノ安定

モ出來ヌガラウト云フ考カラ、斯ノ如キ計

畫ニナツテ居ッタノデアリマスガ、其後ニ於

キマシテ金融狀況ガ非常ニ變化イタシマシ

テ、只今説明ガアリマシタ通り銀行ノ手許

資金モ順次潤澤ニナツテ參ッタノデアリマス、

其當時豫想イタシマシタ如ク、多クノ不動

産抵當債權ヲ資金化スル必要ガ減ジタト云

フコトガ、一ツノ理由カト思フノデアリマ

ス、又此法律ヲ實行イタシマシテ、愈、勸業

銀行ナリ農工銀行ナリガ貸付ヲ致シマスニ

付キマシテ、一番困難ニ感ジマスノハ、普

通銀行ガ不動産ニ貸シテ居リマス其抵當ニ

取ツテ居リマス價格が頗ル高イモノデアリ
マスカラ、此評價ノ關係カラ、ナカ／＼融
資ガ容易ニ行ハレナカッタノデアリマス、此
點ニ付キマシテハ、法律ニ於キマシテ、特
ニ勸業銀行法、農工銀行法ノ例外ト致シマ
シテ、普通デアリマスナラバ算定價格ノ三
分ノ二マデ貸付ケルト云フモノヲ、全額マ
デ貸付ケルト云フ方法モ用キテ居ルノデア
リマシテ、緩和ノ方法ハ開イテアルノデア
リマスガ、併シソレハ尙ホ困難ヲ生ジテ居
ルノデアリマス、又地方ニ依リマシテハ、
普通銀行ト農工銀行トノ連絡ガ從來アリマ
セスノデ、何カ不動産銀行ニ肩替リヲ致シ
マスとか、或ハ資金ノ融通ヲ受ケマストカ
云フ際ニ於キマシテ、銀行ノ内容ヲ疑ハレ
ルト云フヤウナ虞カラ、之ヲ下ゲテ居ルモ
ノモアルノデアリマス、其點ニ於キマシテ
ハ、今日ハ漸次其誤解モ解ケマシテ、必要
ナル資金ノ融通ヲ受ケルト云フコトニ機運
ガ向イテ居ルト思フノデアリマス、我ミノ
考ヘテ居リマスノハ、是等ガ主要ナル原因
ト思ハレノデアリマスガ、只今御話ノ金
利ノ點、是モ確ニ左様デアルト思ヒマス、
金利ガ勿論安ケレバ安イダケニ銀行ガ借入
レ致シマスニ付キマシテモ樂デアリマスシ、
又直接ニ肩替リヲスル場合ニ於キマシテモ、

借主ガ安イ金利デ借リラレマスレバ、勿論
希望スル者ガ多イカト思ハレノデアリマ
ス、此點ニ付キマシテハ、昭和八年當時ト
ハ金融ノ狀況モ變ツテ参リマシテ、金利モ低
下致シタ次第デアリマスカラ、預金部資金
ノ許ス範圍内ニ於キマシテ、金利ヲ下ゲテ
貰フト云フコトデ、今日考究中デアリマス、
方針ト致シマシテハ之ヲ下ゲルト云フコト
ニ決定致シテ居ルノデアリマス、唯此資金
ノ目的ガ金融ノ梗塞ヲ解クト云フコトニア
リマシテ、不動産資金トシテ特ニ低利ナル
資金ヲ供給スルト云フコトデハナイノデア
リマス、預金部資金ノ最モ安イ金利ヲ以テ
融通スルコトハ困難ナ事情ニアルト思ハレ
ルデスガ、出來ルダケ安イ資金ヲ供給スル
ト云フコトニハ、今日方針ハ決マツテ居ルノ
デアリマス、モウ一ツ御尋ノ手續ノ點ト云
フノデアリマスガ、是ハ手續ニ付キマシテ
ハ、今日法律上ノ手續ト致シマシテ、銀行
ガ再擔保ニ入レルト云フ場合ニハ、債務者
ニ通知ヲスルト云フコトモアリマスシ、ソ
レガ爲ニ債務者ノ方デモ、銀行ガ再擔保ニ
入レテ金ヲ借りテ居ルノダナト云フコトモ
分リマスノデ、色々其點ニ付テ銀行トシテ
ハ又好マシクナイト云フコトヲ考ヘテ居ル
モノモアリマスルガ、主トシテ評價ノ點ガ

ナカ／＼困難デアルト云フコトニ歸著スル
ノデハナカラウカト思ヒマス、此評價ノ點
ニ付キマシテハ、銀行ト致シマシテモ、自
分ノ不動産貸モアルモノデアリマスカラ、
特ニ此融通ニ付キマシテ評價ヲ高メルト云
フコトモ困難ナ事情デアリマスノデ、出來
ルダケノ評價ヲスルト云フコトニハ、大藏
省トモ打合セハ致シテ居ルノデアリマス、
尙ホ普通銀行ノ評價ト不動産銀行ノ評價ト
ノ間ニ、從來モ違ヒガアリマスシ、今日ニ
於テモ違ヒガアリマスノデ、此點ニ付キマ
シテハ尙ホ我ミト致シマシテ、出來ルダケ
ノ相談モ致シマシテ、何トカ緩和ノ方法ガ
アリマスレバ、是ハ講ジタイト云フコトニ
モ考ヘテ居ル次第デアリマス
○山本米三君 詳細ニ承リマシテ了承致シ
マシタガ、只今御貸出シニナツテ居リマス利
率ハ、ドウ云フ風ナコトニナツテ居リマス
カ
○政府委員(荒井誠一郎君) 只今預金部カ
ラ貸出シマス利率ガ五分三厘デアリマシ
テ、銀行ガ其間ニ立チマシテ七厘ノ利鞘ヲ
取ルノデアリマスカラ、結局六分ニナリマ
シテ、銀行ノ手ニ渡リ、或ハ肩替リノ場合
ニ於キマシテハ、債務者ノ手ニ渡ル、斯ウ
云フコトニナツテ居リマス

○山本米三君 預金部ノ金デゴザイマスル
ト、モウソレ以上ハ下ゲラナイノデゴザ
イマスガ、只今ノ此低利金利ノ際デゴザイ
マスノデ、尙ホ一層低減ノコトニ御意思ハ
ゴザイマセウカ、承リタイデスガ
○政府委員(荒井誠一郎君) 只今申上ゲマ
シタ通り、五分三厘ト申シマスモノハ昭和
七年當時決メタモノデアリマスカラ、今日
金利ガ低下致シマシタ狀勢ニ應ジマシテ、
或ル程度マデ是ハ下ゲタイト云フコトニ、
只今相談中デゴザイマス
○子爵大岡忠綱君 只今戴キマシタ不動産
融資貸付高種類別調ノ中ニ、不動産貸、債
權質、肩替貸等ガゴザイマシテ、之ニ對シ
テ此コニ年賦、定期ト云フヤウナコトニ分
レテ居リマスガ、此點チヨット説明ヲ願ッテ
置キタイト思ヒマス
○政府委員(荒井誠一郎君) 不動産融資貸
付高種類別調之ニ付テ御説明申上ゲマス、
銀行名ト致シマシテ農工銀行、勸業銀行、
北拓ト斯ウ云フ風ニ種類別ヲ致シマシテ、
其下ニ、横ニ數字ガ出テ居リマスノハ、行
數デアリマス、不動産貸ト横ニ出テ居リマ
スノガ、是ハ銀行ガ持つテ居リマスル不動
產ヲ抵當ニ致シマシテ、勸業銀行、農工銀
行、北拓等カラ金ヲ借ル場合デアリマス、

ソレガ年賦ト定期トアルノデアリマス、債權質ト申シマスノハ、銀行ガ或ル者ニ不動產ヲ抵當トシテ債權ヲ持つテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ質ト致シマシテ不動產銀行カラ金ヲ借ルノデアリマス、其中ニ定期トアリマシテ、年賦ト云フモノハナイノデアリマスガ、是ハ只今ノ法律ノ規定カラ致シマシテ、此銀行ガ債權質ヲ以テ不動產銀行カラ借リマス場合ニハ、定期ト云フコトニ

三千二十八萬五千圓、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

ニ、尙ホ分割拂モアリマデスカラ年賦貸ト同ジヤウナ作用ハ致シテ居ルノデアリマ

○山本米三君 只今ノ此改正ノ條項ハ、詰リ是マデノ三年ヲ六年ト云フコトニナッテ居リマスルガ、融通期限ノ十五年ノ方ハ、御延バシニナル御意思ハナイノデゴザイマ

スガ、唯區分上定期ト云フモノニツガ包含サレテ居ルモノデアリマス、肩替貸、是ハ銀行ガ持つテ居リマスル債權ノ辨濟ヲ受

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今御尋ノ通り、今度ノ改正ハ唯融通期限ノ三年ヲ六年ニ致スト云フコトデアリマスガ、從ヒマシテ今後融通イタシマスモノニ付キマシテハ、十五年ト云フモノガ段々短イモノガ出

ケマシテ、其債務者ハ不動產銀行カラ更ニ金ヲ借リル場合デアリマス、詰リ銀行ノ持つテ居リマスル不動產抵當債權ガ不動產銀行ノ方ニ移ル場合デアリマス、其場合ニハ年

○三井清一郎君 此不動產融資ノ此法律ノ、法ノ精神ハ、丁度昭和七年頃隨分農村其他ノ借金ガ多イト云フヤウナコトカラ、不動產ヲ抵當ニ入レテ借リル者ヲ保護スル意味、及ビ地方ノ銀行ノ資金ヲ豊カニシ

モノハ是等ヲ合計イタシマシテ計ヲ出シテ居ルノデアリマス、此合計ガ三千八百萬圓ニナッテ居ルノデアリマス、ソレガ回收ヲ致シタモノモアリマスノデ、貸付現在高ガ

府ハ約五億ノ二割、一億、補償金ヲ一億マデ支出シテモ宜イト云フコトニ法律ガ規定

昭和九年十二月三十一日現在ニ於キマシテ

シタノデアリマス、先刻山本サンノ御質問ノ如ク、案外今日マデ實行シタ跡ヲ尋ネマスト云フト、僅カナ貸付デ済ンデ居ルト云

中銀行ニ金ガダブ付イタ爲ニ其必要ガナカッタト云フコトガ大ナル原因デアレバ、結構デアリマスルガ、ドウモ大藏省ガドウ云フヤウニ市中銀行ヲ御監督ニナッテ居ルカ知リマセヌガ、市中銀行ハ公債ヲ買ッテ置ク方ガ下手ナ貸付ヲスルヨリハ利益ダト云フ場合ニハ、公債ニ飛ビツク、利益ガ決シテ念頭カラ離レテ居ナイ、此農村等ノ不動產貸付ヲ努メテ融通ヲシテ、法ノ精神ヲ徹底セシメルト云フコトハ、到底ムヅカシイノデヤナイカ、是ハ大藏省其他ノ銀行監督ガ徹底セナケレバ、私ハ今後三年延バシテモ、大ナル實績ガ舉ガルモノデヤナイ、斯ウ考ヘラレルノデスガ、私ノ聞イテ居ル所デハ、此不動產融資法律ガ出マシテカラ後ニ、地方銀行ニ不動產ヲ抵當ニシテ借金ヲシテ者ハ差押ヘラセラレ、遂ニ公賣處分ヲ受ケタト云フ者モアルヤニ聞イテ居リマスルガ、ソレデハ此不動產融資損失、政府ガ一億ノ損失マデ補償スル肚ヲ決メテ此法律ヲ出シタ趣旨ニ反スルヤウニ考ヘマス、是等ノ監督方ハ、内務省ナリ大藏省ナリガ

ドウ云フ方法ヲ執ッテ、ヤッテオイデニナリマスルカ、一應御漏ラシテ願ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 此法律ノ適用ニ依リマシテ資金ガ出マシタ金額ガ割合ニ少イト云フコトハ、只今御話ノ通りデアリマシテ、又其理由ノ主ナルモノハ先程申上ガタノデアリマスガ、尙ホ我ミト致シマシテ、今日然ラバ不動產金融ニ付テ尙ホ改善ヲ要スル餘地ハナイカト申シマス、ソレハ大ニアルト考ヘマス、此法律ヲ以テシテ勿論及バス所ガアリマスガ、此法律ノ及ブ範圍内ニ於テハ、是非此際之ヲ實行イタシタイ、殊ニ今日金融界モ平靜デアリマシテ、此不動產抵當債權等ニ付キマシテ、或ル程度ノ整理ヲスルト云フコトハ、比較的樂ニ出來ル時代デアリマシテ、銀行等ニ對スル信用ヲ傷ツケルトカ、或ハ債務者トノ關係ニ於テ非常ナ面倒ヲ起スト云フヤウナコトナシニ、割合ニ比較的樂ニ行ク時期デハナカラウカト思ヒマスノデ、我ミト致シマシテハ是非之ヲ實行イタシタイ、又銀行トモ常ニ接觸イタシマシテ、サウ云フ方針ヲ以テ進ミタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、只今御話ノヤウニ不動產ヲ處分スル、是ハ場合ニ依リマシテハ、或ハ避クベカラザル事情モアルカト思フノデアリマスルガ、

若シ其場合ガ、此不動産融資ニ依リマシテ銀行モ肩替リラシ、處分モセズデ済ムヤウナコトガ出來マスレバ、勿論我ミト致シマシテハ其方向ニ向ッテ進ムベキデアラウト思フノデアリマス、尙ホ御注意ノ點ニ付キマシテモ、能ク將來努メタイト考ヘテ居リマス

○三井清一郎君 御答ハ能ク了承シマシタガ、此不動産融資補償法ガ昭和七年ニ出來ル際ニ於キマシテハ、此法律ハ銀行ヲ保護スル法律デハナイノデ、所謂今日不動産ヲ持ッテ居ル農村其他ノ金融ヲ滑カニスルノダト云フ御趣意デ此法律ガ出來テ居ル、然ルニ銀行ハ個人ノ不動産抵當ヲ肩替リニシテ、サウシテ個人ヲ保護スルヤウナ態度ニドウモ出テ居ナイヤウニ聞クノデアリマシタガ、ソレデハ法律ガ制定セラレテモ、其目的ト云フモノハ何ニモ達シ得ナイノデアリマスルカラ、是ハドウシテモ中央ノ監督官廳ニ於テ十分御注意下サラナケレバナラス點ダラウト思ヒマスガ御不同意デナケレバ、ドウゾ其點ニ付テ將來御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 當時ノ速記録等ニ依リマシテ、此法律ノ趣旨ヲ能ク研究イタシマシタノデゴザイマスガ、當時銀行

ヲ保護スルヨリモ、不動産抵當ノ金ヲ借りテ居ル者ヲ救済スルト云フコトガ必要デハナカラウカト、斯ウ云フ議論ガ大分アッタデアリマス、是ハ勿論銀行ガ資金ニ詰マッテ参リマスレバ、督促モ急ニ致シマスシ、又處分モ速ニ致サナケレバナラスト云フコトガ自然ニ起ッテ参リマスノデ、銀行ノ資本ヲ潤澤ニ致シマスレバ、之ニ依ッテ不動産抵當債務者ノ保護ニモナルト云フコト、銀行ヲ通ジテ之ヲ行フト云フコトノ趣旨ノヤウニ承ッテ居リマス、從ヒマシテ銀行ニ對シテ之ヲ保護スルト申シマスガ、銀行ノ立場ヲ良クスルト云フコトハ、結局不動産債務者ノ立場ガ良クナルト思フノデアリマス、兩者相俟ッテ此目的ヲ達セシムルト云フコトニ努メナケレバナラナイカト思フノデアリマス、只今ノ御趣意ニ依リマシテ、尙ホ不十分ナ點ガアリマスレバ、十分研究イタシマシテ、サウ云フ所ハ除キタイト思ヒマス

○三井清一郎君 唯私ハ先刻藏相ニ御尋シタヤウニ、此市中銀行ガ非常ニ公債ヲ進シデ買フ、手ニ入レル、銀行ニ裕リガアレバ公債ヲ手ニ入レル、買過ギル位ニ手ニ入レルト云フコトガ、地方銀行ノ資金ヲ減ジテ、サウシテ地方ニ於ケル金融ノ逼迫ヲ來シ、低金利政策ガ徹底シナイデヤナイカト

云フ疑ヲ持ッテ居ル、ドウゾ地方銀行ノ監督ハ大藏省デアリマセウガ、營業狀態……即チ營利ノミニ趨ッテ此地方ノ金融機關ノ使命ヲ全ウセナイヤウナコトガナイカドウカヲ、私ハ十分ノ監督ヲシテ頂キタイト考ヘテ居リマス、ソレダケヲ申上ゲテ置キマス

○山本三君 只今御答辯ヲ得タノデゴザイマスガ今一應政府ノ御所見ヲ確メタイト思ヒマスルノハ、第二條ノ十五年ノ融通期限デアリマス、是ハ三年ヲ六年ニ致シマスレバ、是モ延バス方ガ公平デアリ且ツ宜シイノデハナイカ、議論ニハナルヤウデアリマスガ、或ハ必要ガナイト云フ御所見デセウカ、モウ一應御確メ申シタイト思フノデス

○政府委員(荒井誠一郎君) 其點ニ付キマシテハ十分考究ヲ遂ゲタ積リデアリマシタガ、三年間融資期間ガ延ビレバ、當然當初十五年ノモノデアッタノデアリマスガ、是ハ更ニ三年延バシマシテ、今度融通期間ガ切レマシテ、新ラシイ融通期間ニナリマシテ融資致シマシタモノモ、十五年最長ノ融通ヲスルコトガ適當デハナカラウカト云フ點ニ付キマシテハ、十分研究ヲ致シテ見タイノデアリマス、大體此勸業銀行農工銀行等ノ不動産融通ニ付キマシテハ、自分ノ資金ヲ

以テ融通シテ居リマスモノハ、十年乃至十二年ノモアルカト思ッテ居ルノデスガ、十五年ト云ヒマスモノハ、預金部資金等ニハ随分長イモノガアリマスガ、比較的少ナイノデアリマシテ、此ノ三年經チマシテ、最終ニ融通ヲ受ケル者ハ、十二年ノ融通期限シカナイノデアリマス、此法律ガ更ニ三年延ビマシテ、六年目ニ融通ヲ受ケルノガ九年ト云フコトニナルカト思フノデアリマス、先ヅ九年デアルト、少シ短イト云フ考モアリマスデスガ、十年ヲ標準ト致シマスレバ、其邊デモ我慢ガ出來ハシナイカト云フ點カラ、之ヲ述バサヌデモ宜カラウト云フ結論ニナッタ次第デアリマス

○男爵高崎弓彦君 今ノ御答辯デ、若シサウ云フコトガ、政府ノ御見込通りニ、ソレデ宜カラウト思召シテ居テ、若モ其以上ノモノガ起ッタ場合ハ、私共ホンノ其方ノ知識ハナイノデスケレドモ、若シサウ云フ場合ガアッタナラバ、政府ハ其際ハ御考慮ニナルノデセウカ、其コトヲ承ハッテ置キマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 先キノコトデアリマスガ、若シ此法律ノ六年目ニ融通ガ起ッタ時ニ、ドウ云フ貸付ヲスルカ、最長九年ト云フコトニナルカト思フノデアリマス、九年デ貸スヨリ致シ方ナイ、假令ソレ

ガ十年ニシタ方ガ適當デアルト考ヘマシテモ、先ヅ九年ト云フコトデ、貸付ヲ行フヨリ致シ方アルマイルト思フノデアリマス、サウシテソレガ其後更ニ九年後ニナツテ、然ラバ債務者ノ方デ困リハセヌカト云フコトニ考ヘラレルノデアリマスガ、其點ニ付キマシテハ、或ハ是ガ其時ニ一部損失ニナリマスカ、優良ノ債權デアリマスレバ、更ニ不動産銀行ニ於キマシテ引取りマシテ、相當ノ貸付ヲシテ、自分ノ資金トシテモ貸出シ得ルカト思ハレルノデアリマス、其時ニ於テ相當ノ整理ガ付クノデハナイカト云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ゴザイマセヌデスカ、速記ヲ止メテ頂キマス

(速記中止)

○委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始メテ、……不動産融資及損失補償法中改正法律案、是ニ付キマシテ、尙ホ御質疑ゴザイマセヌデスカ、御質疑ガゴザイマセヌケレバ、討論ニ移リマス、御意見ノ御有リニナリマスル御方ハ此際御願イタシマス

○山本米三君 此改正法案ハ極メテ機宜ニ適シタモノト考ヘマス、利率ノ低減ナリ、又貸付手續ノ緩和ニ付テノ希望ニ對シマシテハ、只今政府委員ノ御答辯ニ依リマシテ、

之ヲ信賴イタシマシテ、私ハ贊成ヲ致シマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 別ニドナタモ原案通り御異議ゴザイマセヌデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ此不動産融資及損失補償中改正法律案ハ是デ決定イタシマシタ、ソレデハ此際休憩ヲ致シマス、午後ハ何時ニ開キマスカ、又何レ申上ゲマスデスカラ、其御積リデ御待チヲ願ヒタウゴザイマス、是デ休憩ヲ致シマス

午後零時二分休憩

午後三時五十三分開會

○委員長(子爵大河内輝耕君) 是ヨリ開會イタシマス、大正九年法律第五十六號中改正法律案ヲ問題ニ致シマス、御質問ノ御有リニナル方ハ此際御願イタシマス

○山本米三君 只今問題ニナツテ居リマス北海道ノ私設鐵道及軌道ハ頂戴イタシマシタ昭和八年年度ノ調査ニ依リマス、現行ノ補助年限ガ切レマス、獨立シテ行ケナイモノガ……二十社ノ中デ辛ウジテ行ケルモノガ僅ニ三社ノミノヤウデゴザイマス、此狀態デ進ンデ行キマスナラバ、折角造ラレマシタ所ノ鐵道、軌道ナリハ維持至難ノ

結果破産若クハ廢線ノ外ナイ慘狀ヲ呈スルニ至ルノデアリマス、是ハ單ニ會社ノ存廢ノミノ問題デナクシテ、實ニ北海道拓殖ノ前途ニ不安ヲ招クモノデアラウト憂慮サレルノデアリマス、又朝鮮臺灣ハ昨年五月ニ、樺太モ一昨年五月ニ何レモ獨立自營ノ域ニ達シテ居ナイト云フ理由ニ依リマシテ、五箇年補助期間延長ニナツテ居ルノデアリマス、北海道ニ於テハ一層成績ガ惡イニモ拘ラズ、之ガ補助ヲ延長シナイト云フコトハ、甚ダ公平ヲ失スルヤウニ思ハレルノデアリマス、政府委員ノ御答辯ニ依リマス、間接ノ方法デ救済ノ途ヲバ精々講ズルト云フ御言葉デアリマスガ、果シテソレデ好結果ヲ得マシテ、此窮狀ヲ救ヒ得マスヤ、問題トセバナラスノデアリマス、之ヲ要シマスノニ財源難ノ爲デアリマシテ、其必要ハ十分御認メニナツテ居ルノデアリマス、以上

ハ北海道ノ拓殖費ナルモノノ御繰廻シヲ都合好ク御ヤリニナリマスナラバ、敢テ至難ノコトデハナイデハナイカト思ハレマス、又ドウシテモ不足スルト云フノナラバ、強ク大藏省ニ對シマシテ御迫リニナツテ致シマスナラバ、之ヲモ大藏省ニハ認メラレヌト云フヤウナコトモアルマイルト思フノデゴザイマス、政府委員ノ御所見ハ如何デゴザイ

マスカ

○政府委員(佐上信一君) 只今ノ御質問ニ依リマシテ、御手許ニ差上ゲデアリマス會社ノ營業狀態ニ付テ御質問ガアリマシタガ、御承知ノ通り北海道ハ昭和六年七年並ニ昭和九年ト三箇年ノ間非常ナ凶作水害デアリマス、殊ニ昭和六年七年ハ農産物ノ產額ガ四割五割……四割五六分ニ止マッタヤウナ狀態デアリマス、サウ云フヤウナコトノ爲ニ貨物ノ出廻リガ非常ニ惡イ、或ハ人ノ旅行スルヤウナモノモ非常ニ少イト云フヤウナコトカラ致シマシテ、此旅客貨物ノ運賃收入ガ激減ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、既ニ其當時ノ拓殖費ノ經理ノ狀況ヲ見マシテモ、常ニ赤字々々デアリマシテ、政府ノ公債財源ニ依ッテ漸ク豫算ヲ支辨……編成スルコトガ出來タヤウナ狀態デアリマス、サウ云フ道内ノ不慮ナ災害ガ、鐵道軌道ニ對シテ大ナル影響ヲ與ヘテ居ルコトト思フノデアリマス、從ヒマシテ將來此農産收入等ガ十分ニ完全ニ回復イタシマスレバ、軌道會社ガ今ノヤウナ慘狀ニアルモノガ相當救済ヲ受ケルモノガ多カラウト思ヒマス、度々此委員會デモ御説明申上ゲマシタ通りデアリマスガ、當初ノ計畫デハ百二十萬圓位アレバ、大體其補助ガ十分

デアルト考ヘテ居ツクモノガ、此連年ノ凶作ノ爲ニ著シク收入ガ減ジタ爲ニ、補助ヲ餘計ニヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデア、豫算ガ足りナクナツタヤウナコトデア

リマシテ、是ハ矢張り此北海道ノ災害ト因果關係ヲ持ッテ居ルヤウナ狀態デアリマス、勿論此北海道ノ拓殖ノ爲ニ必要ナル地方及鐵道軌道等ニ對シマシテハ、十分ナコトハ致シタイト思ッテ居リマスガ、北海道ノ財源ノ立前ガ年々ノ收入カラ支出ヲ引キマシタ殘額ヲ以テ、此拓殖財源ト致シテ居ルヤウナ關係上、十分ニ手ガ廻リ兼ネルト云フヤウナ狀況ニナツテ居ッタノデアリマス、ソレデ尙ホ未補助ノ會社ガ七

會社バカリアリマスノデ、サウ云フモノニモ補助ノ均霑ヲ致サシメタイト云フヤウナ考カラ致シマシテ、此補助ノ切レタ會社ニ對シテハ、此委員會デハ從來各會社々々ニ付テソレ／＼各種ノ沿線ノ培養施設等ヲシテ、此經營ノ成立ツヤウナ風ニ考ヘテ行キタイ、併シ中ニハ客觀的ノ事情ガ補助ナシニハ絶對ニ出來ナイト云フヤウナモノモ無いデモナイト云フヤウナ現狀デアリマシテ、サウ云フモノニ對シテハ、將來ドウスルカト云フコトニ付テ、此委員會等ニ於テモ非常ニ御心配ヲ下サツテ居ルノデアリマ

シテ、ソレ等ニ付テモ十分ノ考慮ヲシナケレバナルマイカト云フヤウナコトヲ考ヘルヤウニナツタヤウナ次第デアリマス

○三井清一郎君 私モ本案ニ付テマダ質問ヲシテ居リマセヌガ、重複スルカモ知レマセヌガ一言御尋ラ致シマス、私モ北海道ニ居住シタコトモアッテ、北海道ノ事情ニ付テハ大分分ッテ居ル積リデアリマス、北海道開拓ガ比較的遅々トシテ居ルノハ、御承知ノ寒イノト、人口ガ少イ、比較的生産品ガ出ナイト云フヤウナコトデ、北海道拓殖ハナカナカ御困難デアラウト思ヒマスガ、此拓殖政策ノ第一要件トシテハ、早く未開地ニ鐵道ヲ敷クト云フコトガ主張セラレテ、

續々私設鐵道ガ御許可ニナツテ、非常ナ困難ヲシテ此鐵道ガ今日ニ至ッタノデアアル、斯ウ云フ事實カラ此地方鐵道、軌道ノ補助ト云フコトガ決マッテ來タノデアリマス、今日先刻モ御尋ガアリマシタ通り、臺灣朝鮮、樺太等ガ補助年限ノ延長ガアツタ後デアリマス、此北海道鐵道ニ付テハ出來得ルダケノ手段ヲ盡シテ、出來得ルナラ此法律ニ依ッテ鐵道ヲ生カシテ行キ、只今長官ノ御答ニアツタヤウニ、北海道ノ農産品其他ノ產出ヲ助長シテ、鐵道モ生キ農村モ更生シテ行クヤウニ仕向ケテ戴キタイト思フノデアリマ

ス、故ニ是非此本案ノ精神ヲ一ツ十分ニ御汲取リ願ッデ、適當ナ手段ヲ盡サレタイト思フノデアリマスガ、取敢ズ斯ウ云フ法律案ガ出テ居リマスカラ、此法律案ヲ成ルベク生カシテ行キタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスガ、是ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○政府委員(佐上信一君) 鐵道、軌道ノ助成ヲ致シテ行キタイト云フ考ハ勿論三井サント同ジ意見デゴザイマスガ、唯北海道ノ拓殖計畫ハ朝鮮、臺灣等ノ特別會計ノヤウナ風ニ、特別會計ニ於テ自由ニ、自由ト申シマシテハ何ンデゴザイマスガ、此負擔ニ於テ公債ヲ起スト云フヤウナ途ガナイ爲ニ、兎角財源難ニ非常ニ困ッテ居ルノデアアル、ソレデ外ノ河川、港灣、道路等ノ如キ費用ハ拓殖計畫ノ豫定計畫カラ申シマスト云フト、四割バカリ總テ減額ニナツテ計上サレテ居ルノデアリマスガ、地方鐵道及軌道ノ補助費ハ計畫豫算ヨリハ四割バカリ餘計ニ之ヲ出シテ居ルト云フヤウナ現狀カラ見マシテモ、相當拓殖費デハ地方鐵道、軌道ノ費用ハ十分ニ他ノ支出ニ較ベマスレバ、相當計上イタシテ居ルノデアリマスガ、唯此數年ノ間、非常ニ凶作水害等ノ爲ニ農村ガ疲弊イタシマシタ結果、地方鐵道或ハ軌道ノ營業成績ガ非常ニ不良デアリ

マス爲ニ、其赤字補填ノ費用ニ多額ノ豫算ヲ要シマシタガ爲ニ、計畫豫算ヨリハ四割餘計取ッテ居ル豫算デモ尙ホ不足ヲ告ゲテ居ルヤウナ情況デアリマス、ソレデ其端境期ニ臨ンデ年限ノ滿了スルモノニ付テ、ドウ云フ風ニシタラ宜イカト云フコトニ付テノ法律案ガ當委員會デ御審議ニナツテ居ルヤウナコトデアリマス、要スルニ是ハ問題ハ財源ニ懸ッテ居ル問題デアアルノデアリマスルガ、色ミト此委員ノ各位ヨリ御意見等モアリマシタノデ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ、相當ニ考慮ヲシテ見ヤウト云フヤウナ考ヲ持ツニ至ッタノデアリマス

○男爵高崎弓彦君 チョット私ハ御渡シニナツタ表デ伺ヒタイノデスガ、補助年限十五箇年二十箇年ノ場合ノ補助見込額比較ト云フ表ガアリマスガ、ソレハ年度ハ昭和二年度同九年度ノ計畫豫算ハ六百六十三萬八千五百三十三圓、十五箇年ノ補助ガ九百三萬四千二百圓、ソレカラ九年度ノ方ガ百二十五萬五千二百六十六圓、二十箇年ノ補助トナリマスト又同ジコトガ書イテアリマシテ、結局比較増減ハチットモ變ッテ居ラナイノデアリマスケレドモ、是ハドウ云フ譯ナンデゴザイマセウカ、既支出額、未拂補助額ト斯ウナツテ居リマスガ、比較ノ増減ガナクナツテ

第四部第七類 酒造組合法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號 昭和十年三月二十三日

居リマスケレドモ……

○政府委員(佐上信一君) 御答申上ゲマス、此拓殖計畫改訂ノ當時ニ計畫イタシテ居リマシタ豫算ノ昭和二年度カラ九年マデノモノヲ合算イタシマスルト六百六十三萬八千五十三圓ト云フコトニナツテ居ル、ソレト實際ノ支出ヲ致シマシタ合算ヲ致シマスルト、既ニ支出済ノ額ガ九百三萬四千二百圓、所ガ其金ガ足ラナイデ、マダ支出ヲシマセスケレドモ、支出ノ義務ガアルモノガ百二十五萬五千二百十六圓アル、ソレガ昭和二十年ニナリマスと九年度マデハ同一ノ額デ行クノデアリマスガ、昭和十年度以降ニナリマスと、年限ノ終了シタモノヲ中ニ加ヘテ行ク關係上、九年度マデハサウ云フ制度ガアリマセヌカラ、比較増減ハ出テ居ラナイ、サウ云フ結果デアリマス

○男爵高崎弓彦君 分リマシタ

○委員長(子爵大河内輝耕君) 別ニ御質問

ゴザイマセヌデスカ

○男爵高崎弓彦君 北海道補助地方鐵道軌道會社調昭和八年度ノ内ニ澤山會社名ガズットアリマスケレドモ、見マストドレモ是モ損ノ立ツタ會社バカリノヤウニ書イテアリマスガ、此内此會社ノ、色ニ鐵道會社ノ名前ガゴザイマスガ、何モ關係ナシト云フ

ト語弊ガアリマスガ、他ノ會社ニ關係ノナイ、全ク獨立ノ鐵道ト云フモノハドレトドレデアリマセウカ

○政府委員(佐上信一君) 此内デ定山溪鐵道、壽都鐵道、北海道鐵道、ソレカラ渡島

海岸、膽振、北海道拓殖、ソレカラ洞爺湖電鐵、ソレカラ鐵道デハ留萌鐵道、ソレダケデアリマス

○男爵高崎弓彦君 軌道ノ方ハドンナノデスカ

○政府委員(佐上信一君) 軌道ハ全部會社ニ關係ガゴザイマセヌ、皆獨立ノモノデゴ

ザイマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 内務大臣ガ

御出席ニナリマシタカラ内務大臣ヘ御質問ノ御アリニナリマス御方ハ此際御願イタシマス

○男爵高崎弓彦君 此際内務大臣ニ御尋ヲ

致シタイノデゴザイマスガ、北海道ノ地方鐵道及軌道ハ元來ガ補助ヲ目當ニ漸ク鐵道ヲ經營シテ居ルノデ、而モ其經營ガ補助ガ

アルニ拘ラズ毎年缺損ガ續イテ居リマシヤウナ次第デ、只今此問題ニナツテ居リマス北海道ノ地方鐵道トカ、軌道補助ニ關スル件ニ付キマシテ、若シモ本案ガ不成立ニナリマスと、多クノ地方鐵道軌道ハ只サヘ、補

助ガアツテサヘ營業ガ困難ナノヲ、ソレデハ營業ヲ中止シナケレバナライヤウニナルダラウ、ソレデハ北海道ノ拓殖ノ政策上、是ハ誠ニ大事ダト斯ウ私ハ考ヘマスガ、此場合ニ於キマシテ内務大臣ノ御所見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 本案ニ付キマシ

テハ政府委員等カラ御説明モ申上ゲマシタヤウニ政府トシテハ今直ニ御賛成ヲ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併ナガラ北海道ニ於ケル地方鐵道及軌道ニシテ、補助年限滿了ノ結果經營ノ困難ナモノ等ニ付キマシテハ適當ナ善後策ヲ講ズルノ要ガアルト考ヘテ

居リマス、政府ニ於キマシテハ近ク設置サレマスル拓殖計畫改訂ニ關スル調査會等ニ於キマシテ、速ニ是等鐵道ニ關シマシテモ、軌道ニ關シマシテモ、補助年限ノ延長デアリマスとカ、補助豫算ノ充實デアリマストカ、其他沿線ノ培養施設等ニ關シマシテ、一般拓殖計畫ノ改訂ト併セテ萬善ノ策ヲ樹立シタイ考デゴザイマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 外ニ御質問ノ御方ハゴザイマセヌカ、内務大臣ニ對スル御質問ノ御有リニナル御方ハ此際御願イタシマス……デハモウ御質問ゴザイマセヌ

カ……ソレデハ政府委員ニ對スル御質問ヲ願ヒマス、御質問ゴザイマセヌデスカ、速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始メ

テ下サイ、本日ハ是ニテ散會イタシマス、次ノ開會ノ時ハ何レ又御通知ヲ申上ゲマス

午後四時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵大河内輝耕君

副委員長 男爵高崎 弓彦君

委員

侯爵徳川 頼貞君

子爵大岡 忠綱君

三井清一郎君

男爵山根 健男君

三橋 彌君

山本 米三君

國務大臣

大藏大臣 高橋 是清君

内務大臣 後藤 文夫君

政府委員

内務政務次官 男爵大森 佳一君

内務參與官 伯爵橋本 實斐君

北海道廳長官 佐上 信一君

大藏政務次官 男爵矢吹 省三君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省銀行局長 荒井誠一郎君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

同 山田 龍雄君

同 大矢半次郎君

預金部長 金子 隆三君

昭和十年三月二十三日印刷

昭和十年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局